

障がい児に対するアニマルセラピー

宮崎 正昭

福岡県福祉労働部障がい福祉課 課長

アニマルセラピーとは、一般に、人と動物が関わることで、身体的、精神的な効果や、生活の質（QOL）の向上を期待するもの。当課では、障がいのある子どもたちと動物の関わりによる、障がい児の主体的な発達を支援する効果を期待し、障がい児施設にセラピー犬を派遣する事業を実施。専門家チームの分析の結果、多くの望ましい行動が確認され、施設の受入れ手法に関する知見も得られた。今後も、アニマルセラピーの普及促進に取り組む。